



こんにちは
横浜市議員

日本共産党

週刊ニュース

古谷やすひこです

古谷やすひこ事務所

2013. 1. 30号

日本共産党鶴見区委員会内

横浜市鶴見区潮田町2-120-2

電話 504-5121 FAX 504-7331

ブログ:「古谷やすひこ」で検索を

福祉パス 年額1800円から1200円に修正案 いくら下げても障害者からお金をとるのはとんでもない!

横浜市は、障害者が市内のバスや地下鉄に無料で乗車できる福祉特別乗車証(福祉パス)を有料化する条例案について、年間1800円とした利用料を1200円(20歳未満は600円)に引き下げる訂正案を市議会に提出しました。

福祉パスの有料化案は負担額を当初の3200円から1800円に引き下げて12月議会に提出されましたが、慎重に審査する必要があるなどとして、全会一致で継続審査となっていました。

市当局によれば、この金額であれば、新たに軽度の知的障害者にも対象を広げた分がカバーできるとのことです。なお、有料化に伴うシステム改修費と制度の周知にかかる費用として、5000万円がかかります。

今月行われた障害者団体への説明会では、

「サービスにお金を払うのは当然」(横浜市心身障害児者を守る会連盟)、「1800円に引き下げたことでやむを得ない」(横浜市身体障害者団体連合会)という



意見があった一方、「あくまでも0円を要望」

「経済的状況から負担金を払えない人がある」

(横浜市精神障害者家族連絡会)、「収入のない

人からはお金を取らないでほしい」(横浜市身体

障害者団体連合会)などの意見が出されました。

日本共産党の古谷やすひこ議員は担当常任委員会で、「ただ生きるだけでも非常に厳しい状態にある方々に有料にするのは本当に間違った施策」と指摘。また、同党の白井まさ子議員は12月議会で、障害者の外出を支援し障害者等の福祉の増進を図ることを条例提案の理由としているが、利用者負担金の導入の「どこが福祉の増進なのか、福祉の増進にどうつながるのか」と市長に迫りました。

市は金額を下げることで議会の下承を得ようとしています。金額をいくらに下げようと、経済的精神的に大変な思いをしている障害者から負担金をとる制度は、福祉とは相容れません。日本共産党は、横浜市が他市に誇れる制度である現在の無料パス制度を維持するよう求め、有料化案には反対していきます。

議会開催のお知らせ (2013年横浜市第1回定例会)

(議員名は、日本共産党横浜市議団の発言予定者)

- 2月1日(金) 午前10時～ 本会議: 会期の決定
- 2月8日(金) 午前10時～ 本会議: 常任委員・特別委員の補欠選任
- 2月15日(金) 午前10時～ 本会議: 一般議案上程、議案関連質問(古谷やすひこ議員)
- 2月18日(月)～21日(木) 常任委員会(一般議案等審査)
- 2月26日(火) 午前10時～ 一般議案議決(討論: 白井まさ子議員)、予算代表質疑(大貫憲夫議員)
- 2月27日(水) 午前10時～ 予算関連質疑(岩崎ひろし議員)
- 2月28日(木)～3月13日(水) 午前10時～ 予算特別委員会(局別審査)
- 3月14日(木)～19日(火) 常任委員会(予算議案等審査)
- 3月22日(水) 午前10時～ 予算特別委員会(総合審査: あらき由美子議員)
- 3月25日(月) 午後2時～ 予算特別委員会(採決)
- 3月26日(火) 午後2時～ 予算議決(議案討論: 岩崎ひろし議員、請願討論: 白井まさ子議員)



傍聴にお越しください。また、市会HPで中継(生・録画)がご覧になれます。